

ナショナル オーキッド庭園

そこはまるで南海の楽園であった。美しいランの花々に囲まれ夢の世界に迷い込んだ気持であった。ここシンガポールの「ナショナル オーキッド ガーデン」は 1995 年に開園し、3 ヘクタールの敷地を持つ世界最大規模の国立ラン園である。ランの品種は 1000 種を超える。原種と 2000 種以上の交配種からなり、約 6 万株のランが鮮やかに咲き誇っている。

欧米では誕生日、プロポーズ、各種記念日、お祝いに花を贈ることが多い。特に女性は美しい花を贈られると想像以上の喜びを表現する。ランの花もその一つである。ランを愛する私にとってここを訪れることはかねてからの夢であった。まるで恋人に会うような興奮を覚えた。



車を降りて暫く歩くと周りはジャングルの中に入っていくように思えた。ランの花に囲まれた鶴の噴水が出迎えてくれた。園内は自然の中で咲く様々な色、形、大きさに圧倒される。私は水を得た魚のように夢中でカメラのシャッターを切った。人生至福のひと時であった。デンファレ系のラン、女王ともいわれるカトレア、華麗なる胡蝶蘭……。

園内の途中にしゃれた建物があった。入ってみると天井からの扇風機が心地よかった。ここはオーキッドガーデンの沿革やランの栽培について展示されていた。そして驚いたことにここを訪れた世界のVIPの名前を付けた新種ランが紹介されていた。日本の天皇陛下（深紅のラン）、雅子様（白いラン）、エリザベス女王（黄色いラン）、サッチャー首相、ダイアナ妃、マンデラ首相等々。

ちなみにシンガポールの国花のランは「バンダ・ミス・ジョアキム」

撮影 2014 年秋

